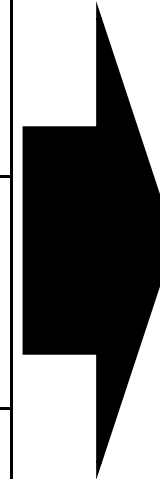


第1回委員会で出された主な意見及び対応案

資料 8

項目	出された意見等
ごみの排出・ 収集形態について	○「不燃ごみ」という標記を見直してはどうか。（「資源ごみ」など） ○夜間・戸別の収集形態を変更しないと対応が難しいのではないか。
ごみ以外への排出の 誘導について	○地域集団回収，校区紙リサイクルステーション，リサイクルボックスなどにもっと誘導してはどうか。 ○公民館やコンビニなどで回収するなど拡大できないのか。
ごみ置き場について	○ごみ置き場に「持ち去り禁止」等の看板を掲示できないか。 ○持ち去りができないような状況にすべきではないか。
広報・啓発・指導に ついて	○正規の収集業者の周知徹底が必要ではないか。 ○回収業者の組合でもきちんと対応してもらうのがいいのではないか。
法的整理に関すること	○有料指定袋で排出され，袋に持ち去り禁止と表記していても無主物とみなされるのか。 ○条例で規制する場合，排出場所による違いはあるのか。（集合住宅のごみ置き場，ごみステーション，公道上など） ○市民が持ち去り者に対して声をかけられるよう明確な根拠を整備してほしい。



対応案の検討
○「不燃ごみ」の標記の見直し。（「資源ごみ」，「資源物」など） ○「不燃ごみ」の収集形態の見直し。 ・昼間収集への変更
○地域集団回収によるアルミ缶の回収量を増やす。 ・市民や回収団体への広報の強化 ・回収拠点の増設 ・アルミ缶回収に対する報奨金の増額 ○スーパー等によるアルミ缶の回収量を増やす。 ○公民館等でアルミ缶を回収する。 ○イベント等でアルミ缶を回収する。
○集合住宅のごみ置き場に「立ち入り禁止」や「持ち去り禁止」等の看板を設置する。 ○不燃物ごみ置き場を施錠する。
○正規の収集業者についての周知を強化する。 ○買い取り事業者へ「指定袋」での買い取りをしないように要請する。 ○行政によるパトロールを強化する。 ○地域によるパトロールを導入する。
別紙